

# Close up だて



## 健康と安心の お手伝い

LSA (生活援助員)

こ 小 林 さん  
ほら 洞 口 直 紀 さん  
ばやし のり え  
ぐち なお き



入所者との会話がはずみます

「LSA」という言葉を聞いたことがある市民の方が以前より増えているのではないのでしょうか。この言葉は「生活援助員」を意味するライフ・サポート・アドバイザーの頭文字を取った略語。JR伊達紋別駅前に整備され、今年9月から入居が開始された市営駅前団地で、高齢者や障がい者が安心・安全に暮らせるための生活支援サービスを提供する「お助け隊」のことで。市と委託契約を結んだ市社会福祉協議会から派遣され、お助け隊として入居者の生活相談や緊急通報対応を担当するのは小林典江さんと洞口直紀さんのお二人。



LSAの拠点になる市営駅前団地

手探りの中で業務が始まり、利用者の方と自然体で接することで、当初あった不安感も今ではすっかり解消されたとのこと。幸い利用者の方の中には1日でも早く自立した生活をしたいと考える意欲的な方が多く、隣同士お互いの安否確認をするなどの交流が既に生まれ始めています。

隣人との関係が希薄な現代社会。市内の団地も同じような傾向に陥りがちですが、お二人の存在がこの団地の中で良い方向に作用しているのは間違いありません。

既にお二人とも、団地内の交流がさらに深まるような催しの企画に思いを巡らせています。

「私たちに気軽に相談することで安心できるきっかけになりたい。(小林さん) 1日でも長く皆さんの元気が維持できるようにお手伝いしたい。(洞口さん)」

お二人の熱い思いがこの団地に、そして近い将来、広く地域にも伝わっていきます。

として保存しましょう

### 広報だて

■発行・編集 伊達市企画財政部企画課  
☎ 0142 - 23 - 3331 内線238・239  
FAX 0142 - 23 - 4414  
✉ kouhou@city.date.hokkaido.jp  
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

### 楽 画 記

■例年以上に長くそして厳しい「夏」が終わり、やっと「秋」に適應でき始めた矢先、もう「冬」間近を感ぜさせるような気温の急降下にカラダが半フアップ寸前！男性の平均寿命は約80歳…人生の折り返し地点を過ぎたばかりのはずが、肉体は完全においしいちゃん！気持ちだけは若いもんには負けません!! (じ)

■夏が終わり、秋へと季節が変わりましたが、この号が皆さんの手元に届いている頃には冬がもう目の前と思うと、寒さに体が対応できるか不安を感じます。けれども、昔から季節の中で一番好きな季節は冬。いつになっても、雪が降ると気持ちが一瞬高揚するのは隠せません!! (よ)

■「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが本当にその通り。あんなに暑かった夏も秋分の日を境に一変。先人の言葉は奥深く、なるほどと思わされてばかりです。諺(ことわざ)もまた然り。「馬の耳に念仏」「暖簾に腕押し」。発想の豊かさに感心しつつも名語通りの状況に遭遇したため息の毎日です。(や)

■今回職業体験で来ました中学生の(ま)です。初めはすごく緊張していましたが、皆さんがたくさん私に話かけてくれて、楽しい一日をすごせました!!いろいろな仕事をしたり、市役所を見学したりと貴重な体験ができて嬉しいです。私は、また明日から勉強や部活をがんばります!!(ま)